



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.23
六甲山と昆虫たちの
冬越し/戸田 信示
2005年2月発行

第23回テーマ:六甲山と 昆虫たちの冬越し



朽ち木の中の昆虫探しを体験

講演内容

命の教育について
～命をどう気づかせるか～
六甲山(神戸)の昆虫
六甲山へ行こう

実施日:平成17年2月19日(土)
午後1時～3時45分
場 所:六甲山YMCA
里見ホール



講師:戸田 信示さん

プロフィール

1960年生まれ。仏教大学
文学部教育学科通信教育課
程卒業。神戸市立小学校教員
として若草小、御影小、六甲
山小、神戸市立神出自然教育
園、本庄小に勤務後、現在神
戸市立青少年科学館指導主
事3年目を迎える。

新芽が出だして春の気配

朝から小雨が降ったりやんだり、不安定な天候の1日でした。先月と比べてかなり暖かくなってきています。午前中のボランティア活動で記念碑台周辺の散策コースを歩いていると、木々の枝に新芽を見つけました。六甲山に春が近づいていると感じました。



実習用の朽ち木を囲んでお話を聴く

越冬する昆虫の様子をスライドで観賞

講師の戸田信示さんは、神戸市立青少年科学館に勤務し、自然史系の企画展などに注力されています。自然大好き人間の戸田さんから、六甲山地の昆虫の冬越しの様子をご紹介いただきました。

昆虫は春から秋の季節には見かけますが、冬は山へ行ってもあまり目にすることがありません。冬の間、昆虫はどこでどうしているのかという素朴な疑問を切り口に話が進みました。約20種類の昆虫のひっそりと越冬する様子を、スライドや標本を見せていただきました。

主催:六甲山自然保護センターを活用する会
後援:兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館
灘区役所 神戸市教育委員会

童心に返って夢中で昆虫探し

農家から使わなくなった椎茸栽培の櫛木(ほたぎ)をいただいて、昆虫探しを体験しました。櫛木を注意深く砕いていくと、クワガタやカブトムシの幼虫、コメツキムシが中にひそんでいました。全員が童心に返って取り組み、「見つけたー!」と歓声を上げながら熱中しました。

六甲山の自然に関わろう

越冬する昆虫を通じて生命の連鎖を学びました。小さな生き物に目を向けることが、六甲山の大きな自然に目を向けるきっかけをつくります。自然から学べるものは無数です。積極的に自然と関わり、次世代へも伝えていきたいと痛感しました。

詳しくは、1.2ページをお読みください。

参加の感想 南馬 進さん

小学生の頃、菊水山へよく登り、クワガタやカナブンのいる秘密の場所へ行ったものでした。スズメバチに気を付けながら、今日こそクワガタをと胸をワクワクさせていました。その頃をなつかしく思い出しながら、戸田先生のお話を聞かせていただきました。



自然を守る、豊かにするとは言っても難しいことがあるのだと感じさせられる場面がお話の中になりました。人間も自然の一部になり、六甲山の自然と共に育っていかれたらと思います。(六甲山小 教頭)

【助成金をいただいている機関】

灘区「地域力を高める」事業、ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金、コベルコ自然環境保全基金